

豪快、破天荒、大胆不敵。
アメリカ映画の巨人
ジョン・ヒューストンが映す、
人生の光と影。

Stranger™

まだ負けたわけじゃない

光あれ
勇者の赤いバッヂ
禁じられた情事の森
ゴングなき戦い
ザ・セッター／「ダブリン市民」より

Let There Be Light 1946
The Red Badge of Courage 1951
Reflections in a Golden Eye 1967
Fat City 1972
The Dead 1987

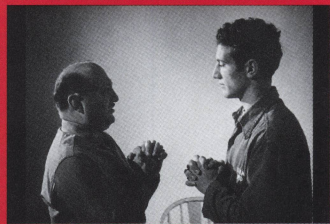
ジョン・ヒューストン特集

2024 07 19 ————— 08 08
fri ————— thu

John Huston



1941年にダシール・ハメット原作『マルタの鷹』で監督デビューし、半世紀にわたるキャリアの中で名作文学の映画化を数多く手掛けたジョン・ヒューストン。骨太な作品を発表する一方、人間の野望や欲望、そしてそれらが挫かれる様も描いてきた。初期40年代～晩年80年代の監督作の中から年代別に作品をセレクトし、それぞれの時代において人々が何を夢見てその先に何が待っていたのか、ヒューストンはそれをどう描写してきたのかを探る。貴重な日本未公開作を含む5作品を特集上映！



『光あれ』

Let There Be Light / 1946年 / 58分 / アメリカ / 白黒

脚本：ジョン・ヒューストン、チャールズ・カウフマン / 撮影：スタンリー・コルテス、ジョン・ドーラン、ロイド・フロム、ジョセフ・ジャックマン、ジョージ・スミス、ジョン・ヒューストン / ナレーション：ウォルター・ヒューストン

ロング・アイランドのメイスン総合病院で75名の帰還兵が治療を受けている。彼らは第二次世界大戦での体験から戦争神経症に苦しむ兵士であり、この作品はその治療の様子を収めたドキュメンタリー映画である。米軍の依頼で制作されたにもかかわらず、戦意を喪失させるとして35年にもわたり上映が禁止されていた。ポール・トーマス・アンダーソン監督の『ザ・マスター』は本作から着想を得ている。



The Red Badge of Courage © 1951 WBEI

『勇者の赤いバッヂ』

The Red Badge of Courage / 1951年 / 69分 / アメリカ / 白黒

原作：スティヴン・クレイン / 脚本：ジョン・ヒューストン、アルバート・バンド / 撮影：ハロルド・ロッソン

出演：オーディ・マーフィ、ビル・モルディン、ダグラス・ディック、ジョン・ディークス

1862年南北戦争、北軍に参加した新兵ヘンリーは実戦に怯え前線から逃げ出してしまう。しかし自分の臆病さを恥じ、「名誉の負傷」＝「赤いバッヂ」を得るため戦場へ戻る決心をする。ヒューストンに無断で大幅にカットされた本作だが、兵士たちの葛藤や恐怖を露にした戦争映画の傑作と評価が高い。主演のオーディ・マーフィは第二次世界大戦の英雄として数々の勲章を受章。戦後は俳優として活躍したが彼自身はPTSDに苦しんでいたという。



Reflections in a Golden Eye © 1967 WBEI

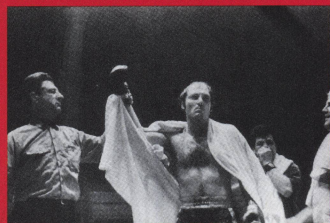
『禁じられた情事の森』

Reflections in a Golden Eye / 1967年 / 108分 / アメリカ / カラー (ゴールド染色版)

原作：カーソン・マッカーズ / 脚本：チャップマン・モーティマー、グラディス・ヒル / 撮影：アルド・トンティ

出演：マロン・ブランド、エリザベス・テイラー、ブライアン・キース、ロバート・フォスター、ジュリー・ハリス

ベンダーントン少佐夫妻は形だけの夫婦だった。妻は愛人との情事に耽り、夫は倒錯した性癖を抱えながら若い兵士に惹かれている。その人知れぬ想いが募るあまりに、ギリギリで保たれていた均衡が崩れていき…。カーソン・マッカーズの原作小説を基に、マロン・ブランドとエリザベス・テイラーが異常な温度を帯びた熱演を見せる。ヒューストンの希望に反して早々に打ち切られた「gold"-hued version (ゴールド染色版)」での上映。



Fat City © 1972 Columbia Pictures Industries, Inc. All Rights Reserved.

『ゴングなき戦い』

Fat City / 1972年 / 96分 / アメリカ / カラー

原作・脚本：レナード・ガードナー / 撮影：コンラッド・ホール

出演：ステイシー・キーチ、ジェフ・ブリッジス、スーザン・ティレル、キャンディ・クラーク

日雇い労働者のタリーは元プロボクサー。ある日、ジムで19歳の青年アーニーと出会う。タリーはアーニーにかつての自分のトレーナーを紹介するも、アーニーはデビュー戦で惨敗してしまう…。かつてボクサーであったヒューストン監督がレナード・ガードナーの原作小説を映画化、男たちの孤独で泥臭い闘いを描いたボクシング映画の傑作。日本では長らく劇場未公開でDVD化もされていなかった。



Images Courtesy of Park Circus-ITV Studios

『ザ・デッド／「ダブリン市民」より』

The Dead / 1987年 / 83分 / イギリス・アイルランド・アメリカ / カラー

原作：ジェームズ・ジョイス / 脚本：トニー・ヒューストン / 撮影：フレッド・マーフィ

出演：アンジェリカ・ヒューストン、ドナル・マッキン、ドナル・ドネリ

1904年のクリスマス、ダブリンに住むお姉妹が開く毎年恒例のパーティーには、今年もグレッタと夫のガブリエルが参加していた。和やかなパーティーが終わり、帰り際に「オーグリムの乙女」を聴いたグレッタに悲しい記憶が甦る。ジェームズ・ジョイスの短編集『ダブリン市民』の一篇「死者たち」を原作に、パーティーに集う人々の一夜の出来事を描いたヒューストン監督の遺作。娘で女優のアンジェリカ・ヒューストンが主演を務めた。

開催期間：7/19(金)～8/8(木)

3週間にわたり5作品を上映 (各日2～3作品を入れ替え上映)

配給協力：Gucchi's Free School

ご予約
開始日

7/19(金)～7/25(木) 上映回

>>> 7/17(水) 予約START

※7/15(月) 上映スケジュール発表

7/26(金)～8/1(木) 上映回

>>> 7/24(水) 予約START

※7/22(月) 上映スケジュール発表

8/2(金)～8/8(木) 上映回

>>> 7/31(水) 予約START

※7/29(月) 上映スケジュール発表

鑑賞料金

¥1,500均一

5作品セット前売券 ¥6,000

※6/28(金)～7/18(木) まで当館窓口にて販売

都営新宿線・菊川駅A4出口 徒歩1分

東京都現代美術館から徒歩15分

代表電話：080-5295-0597

全席指定・各回入替制

東京都墨田区菊川3-7-1 菊川会館ビル



www.stranger.jp

Stranger™

映画館 ストレンジャー

招待券・各種割引使用不可

詳細はStrangerのWebサイトでご確認ください

チケットはStrangerのWebサイト、Stranger劇場窓口にて販売